

第52回

長野県部落解放研究集会

2015年1月23日(金)

塩尻市 レザンホール



「部落地名総鑑」発覚40年



同和対策審議会答申から50年

参加資料代 2,000円
受付開始 9時～



主催
構成団体

長野県部落解放研究集会実行委員会
長野県企業人権教育推進連絡協議会 長野県同和問題企業連絡会 「同和問題」に取り組む長野県宗教教団連絡協議会 塩尻市
部落解放長野県民共闘会議 世界人権宣言長野県実行委員会 部落解放・人権政策確立要求長野県実行委員会
部落解放同盟長野県連合会

後援

長野県 長野県教育委員会 長野県同和教育推進協議会 信濃教育会 (財)信州農村開発史研究所 長野県部史調査委員会
在日本朝鮮人総聯合会長野県本部 NPO 法人わっこ自立福祉会 部落解放に関する「条例」制定市町村連絡協議会
長野県隣保館連絡協議会 長野県市長会 長野県町村会 長野県市議会議長会 長野県町村議会議長会 長野県仏教会
長野県平和人権環境労働組合会議 日本労働組合総連合会長野県連合会 長野県社会福祉協議会 長野県民生児童委員協議会連合会
長野県連合婦人会 女性会議長野県本部 長野県男女共同参画推進県民会議 長野県農業協同組合中央会 長野県PTA連合会
長野県公民館運営協議会 長野県小学校長会 長野県中学校長会 長野県高等学校長会 長野県特別支援学校校長会
長野県中小企業団体中央会 長野県商工会議所連合会 長野県商工会連合会 長野県経営者協会
信濃毎日新聞社 中日新聞社長野支局 読売新聞長野支局 毎日新聞社長野支局 朝日新聞長野総局 産経新聞社長野支局
共同通信社長野支局 時事通信社長野支局 SBC信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州 長野朝日放送 NHK長野放送局
長野エフエム放送 FMぜんこうじ

【事務局】

長野県部落解放研究集会実行委員会 企画運営事務局

〒380-0928 長野市若里1-19-5 長野市中央隣保館内 NPO 法人 人権センターながの
(TEL) 026-225-5045 (FAX) 026-227-0212 (E-mail) jinken-nagano@vesta.ocn.ne.jp

集会内容

9:00	受付開始	
10:00~10:20	開会行事	実行委員長あいさつ 来賓あいさつ、紹介
10:25~11:45	講演	「私の人権行政論～同和対策審議会答申から50年の今を考える～」 社会福祉法人恩賜財団済生会理事長 元総務庁地域改善対策室長 元環境事務次官 炭谷 茂 さん
11:45~12:15	語る	「部落を生きる」 当事者から
12:15~13:05	昼食	
13:05~14:55	映画上映	「ある精肉店のはなし」
15:00~16:00	対談：講演	「いのちを食べていのちは生きる」 映画監督 瀬瀬 あや さん 北出精肉店店主 北出 新司 さん
16:00~16:10	閉会行事	

炭谷 茂 プロフィール



1946年富山県生まれ。1969年東京大学法学部卒業後、厚生省（当時）に入る。総務庁地域改善対策室長、厚生省社会・援護局長、環境省官房長等を経て、2003年7月環境事務次官に就任、2006年9月退任。現在恩賜財団済生会理事長、日本障害者リハビリテーション協会会長、富山国際大学客員教授、ソーシャルファームジャパン理事長、人権文化を育てる会代表世話人、朝日新聞厚生文化事業団理事等を務める。

主な著書に「私の人権行政論」（解放出版社 2007年）、「環境福祉学の理論と実践」（編著、環境新聞社、2006年）、「社会福祉の原理と課題」（社会保険研究所、2004年）「地球環境問題の新常識」（共著、東洋経済新報社、2004年）

映画紹介



ある精肉店のはなし

大阪貝塚市での屠畜見学会。牛の命と全身全霊で向き合うある精肉店との出会いから、この映画は始まった。

家族4人の息の合った手わざで牛が捌かれていく。牛と人の体温が混ざり合う屠場は、熱気に満ちていた。店に持ち帰られた枝肉は、丁寧に切り分けられ、店頭と並び、皮は丹念になめされ、立派なだんじり太鼓へと姿を変えていく。家では、家族4世代が食卓に集い、いつもにぎやかだ。

家業を継ぎ7代目となるきょうだいの心にあるものは差別部族ゆえの差別をうけてきた父の姿。差別のない社会にしたいと、地域の仲間とともに部落解放運動に参加する中でいつしか自分たちの意識も変化し、地域や家族も変わっていった。

2012年3月。

日々使用してきた屠畜場が、102年の歴史に幕を下ろした。

いのちを食べて人は生きる。

「生」の本質を見続けてきた家族の記録。



はなぶさ 瀬瀬 あや（監督）

1974年東京生まれ。2010年上関原子力発電所に反対し続ける島民の暮らしを写し撮った映画『祝の島』を初監督。シチリア環境映画祭で最優秀賞受賞。



きたて 北出 新司

北出精肉店店主。小学生の頃から家業を手伝ってきた。農業高校を卒業した後、家業を継ぎ7代目となる。時代の流れとともに卸業だけでは立ち行かないと、小売りや行商も始める。一家の長として、常に家族や仕事のこれからを考えている。部落解放運動の一環で講演会などにも力を入れる

『祝の島』につづく
瀬瀬あや監督作第二弾

